

この広報紙は、印刷用の紙へリサイクルできます。

葛飾区

伝統産業職人会まつり

—職人の技に触れよう—

- さつき展 (JA東京スマイル葛飾さつき愛好会)
- 復興支援福島県産農産物即売会 (湯川村、会津坂下町、埴町)
- 和菓子の販売 (葛飾和菓子組合)

【日時】 5月24日(土) 午前10時～午後5時
5月25日(日) 午前10時～午後4時

【会場】 テクノプラザかつしか (青戸7-2-1) 【担当課】 商工振興課 ☎ 3838-5587

出展(販売)予定産業

22産業、25店が出店予定です

内容	産業
実演・体験	東京三味線・江戸ベツ甲・江戸切子 (体験は有料)
実演	江戸衣裳着人形・江戸打刃物・東京打刃物・江戸型彫 たわし・東京手描友禅・唐木細工・江戸木彫刻
体験	東京銀器 (体験は有料)
販売のみ	東京組紐・印伝・銅版仏画・印章ケース・飾熊手 硝子彫刻・象牙彫刻
展示のみ	江戸小紋・江戸更紗・江戸和傘



▲ごつごつとした素材から高度な技術でつや、滑らかさを生みだしています



▲直線的な模様で柔らかい印象を与える、繊細な美しさです

葛飾の伝統産業

江戸時代・明治時代から受け継がれている技術を駆使して作られる伝統工芸品。伝統の技を後世に伝えていくため、区では46品目を葛飾区伝統工芸品として指定しています。また、伝統工芸品の製造に20年以上携わり、高度の伝統的な技術・技法を持つ方を葛飾区伝統工芸士として認定しています。

職人会まつりでは、日頃接する機会の少ない職人と直接触れ合い、製品を手に取り、購入することができます。伝統工芸や技術を生かした新しい取り組みをより身近に感じることができる機会です。ぜひ、お出掛けください。

江戸時代に入ると、人々を集め、もっぱら落ちのある滑稽話をする落語専門の話手(噺家)が江戸・京都・大坂に登場します。天明から寛政の頃(1781~1801)には、江戸で江戸落語中興の祖といわれる戯作家の初代烏亭馬場(うていばば)によって、新作が披露され、定期的に寄席が開かれるようになったといえます。さらに、文化・文政の頃(1804~30)には、町に100軒を超える寄席ができるなど、江戸落語は隆盛を極めます。

一説には、豊臣秀吉の前で話をして喜ばれた御伽衆の安楽庵策伝(あんらくあん)という僧侶が元和9年(1623)に著した『醒酔笑(せいすいしょう)』が、現在の落語の演目にもつながるネタ本といわれています。安楽庵の話の特徴は、「落とし噺」といわれ、最後に落ちがつくことから「落語の祖」とも評されています。

落語の歴史は古く、『昔物語』や『宇治拾遺物語』などに残されている説話などがその源流ともいわれています。戦国の世になると、將軍や大名の側に仕え、世情などの講釈や話し相手をする「御伽衆」と呼ばれる役職がありました。

幕末から明治にかけては、二代三遊亭圓生(さんゆうてん げんせい)や初代三遊亭圓朝(さんゆうてん げんてい)の落語家が活躍し、滑稽な落しと噺だけでなく、人情噺、芝居噺、怪談噺などが生まれ、現代の落語へと引き継がれていきます。

中でも、圓朝は現代の日本語の形成にも大きな影響をもたらした人物として知られ、葛飾とも縁の深い人物でした。永井啓夫著『新版 三遊亭圓朝』(青蛙社刊)によると、圓朝は天保10年(1839)生まれで、本名は出淵次郎吉(でふち じらきち)といわれます。次郎吉の祖父は、出淵新左衛門盛房(でふち しんざゑもん せいぼう)の長子大五郎(だいごろう)といわれ、葛飾区新宿で農業を営んでいました。その後、圓朝の父となる長蔵(ながぞう)が生まれます。長蔵は17、18歳の頃に出家し、放浪の末、数年後、葛飾に戻り青戸村で暮らすようになります。青戸に居を据えた長蔵は、左官職人として働き、青戸生まれの女性と結婚後、居を湯島切通町の根性院横丁(現文京区湯島四丁目)に移しました。そこで生まれたのが次郎吉(じらきち)と後の三遊亭圓朝(げんてい)です。その後、父の長蔵は音曲師として橋屋円太郎(はしや げんたろう)を名乗り、芸人となります。

このように、名人三遊亭圓朝の誕生には葛飾が大きく関わっているのです。それは、圓朝が創作した人情噺や怪談噺からもうかがうことができます。例えば、「どうか亀有までやつて、亀有の渡を越して新宿泊り(しんじゆ ぼり)としますから」(粟田口雷笛竹(あしたぐち らいふえ すすき)とか、「帝釈さまの手前の土手のところに駕籠屋(かごや)がおりまして」(真景累ヶ淵(まげい づみ)とあるように、代表作のなかに葛飾の地名や地理などが、数多く含まれているのです。

かつしかの暮らしと文化 164
名人・三遊亭圓朝と葛飾



三遊亭圓朝の墓所 (台東区全生庵)

郷土と天文の博物館では、NPO法人葛飾アクトイブ・COMと協働で、落語に親しみ、江戸東京の暮らしや文化を学ぶ「かつしか下町寄席」を年に3回行っています。次回は6月21日(土)です(6面参照)。ぜひ、お出掛けください。(郷土と天文の博物館)

広告 内容については広告主にお問い合わせください

広告 高齢者の方が安心して快適に暮らせる賃貸住宅

協力医療機関である、平成立石病院が医療面・介護面共にバックアップする、24時間の定期巡回サービスが整っておりますので、自立の方から、要介護の方まで安心してご入居頂けます。(1Fに立石訪問看護ステーション「ペンギン」併設)

サービス付き高齢者向け住宅

新築 リリイ立石

ケア ガーデン ISHIDA

京成立石駅
お花茶屋駅徒歩11分

月額利用料:102,200円~
家賃:66,000円~165,000円
管理費:20,000円~30,000円
サービス費:16,200円/人(税込)

●その他料金:水道光熱費と、介護サービスを受ける時は介護保険サービスの自己負担が必要です。
●所在地:東京都葛飾区立石5丁目9番26号
●構造・規模:鉄筋コンクリート造5階82戸
●専有面積:25.30㎡~55.98㎡(1K~2LDK)
●敷金:2ヶ月 ●仲介手数料:1ヶ月(別途消費税)
●入居条件:60歳以上・当社基準の入居審査有
●取引態様:媒介

訪問介護事業所・訪問看護ステーション併設

入居者募集中

入居一時金・礼金・更新料なし

内覧会開催!
5.24(土)・25(日)
内覧時間10:00~16:00 要予約

株式会社 パワーズ アンリミテッド

お問合せ 資料請求 (仲介) 高齢者住宅募集センター

URL▶http://lilypowers.com/ | 0800-888-6186

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町8-8 0120-182-082 ■国土交通大臣免許(3)第6263号 (営業時間10:00~20:00)

特定健診は区内の医療機関で受診できます

平成26年6月から、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)の早期発見を目的とした健康診査(特定健診)が実施されます。

区内在住の40歳~74歳で、葛飾区国民健康保険に加入している方が対象です。
糖尿病や肺がんの早期発見のためにも毎年受けましょう。

社会保険・国保組合等の特定健診は、7月から始まります。
詳細は、各保険者にお問い合わせください。

葛飾区医師会 葛飾区立石5-15-12
Tel.03-3691-8536

詳しくはホームページをご覧ください http://www.katsushika-med.or.jp